

## 戰時對策に

政府の準備進む

軍需工業に國家統制

石油會社には

大量ストックを命ず

【東京六日】満ソ國境の事態が悪化するに従ひ各方面の注目が此の一点に集められてゐるが關係當局筋は左の如く語つてゐる

今年の非常時局に當り、國防の完璧を期すため、わが陸軍當局では軍事工業關係の重要な業の國の統制案を完成するに至つた右の統制案は更に慎重に適用されるべきものである

政府が右の立案を決意するに至つたのはソ聯の五ヶ年計畫の結果、ソ聯に

飛行機製造工場、自動車製造工場、石油精製工場

考究の上、近く實施適宜を見る豫定であるが、

今年の非常時局に當り、國防の完璧を期すため、わが陸軍當局では軍事工業關係の重要な業の國の統制案を完成するに至つたのはソ聯の五ヶ年計畫の結果、ソ聯に

飛行機製造工場、自動車製造工場、石油精製工場

考究の上、近く實施適宜見る豫定であるが、

今年の非常時局に當り、國防の完璧を期すため、わが陸軍當局では軍事工業關係の重要な業の國の統制案を完成するに至つたのはソ聯の五ヶ年計畫の結果、ソ聯に

飛行機製造工場、自動車製造工場、石油精製工場

考究の上、近く實施適宜見る豫定であるが、

今年の非常時局に當り、國防の完璧を期すため、わが陸軍當局では軍事工業關係の重要な業の國の統制案を完成するに至つたのはソ聯の五ヶ年計畫の結果、ソ聯に

飛行機製造工場、自動車製造工場、石油精製工場

考究の上、近く實施適宜見る豫定であるが、

今年の非常時局に當り、國防の完璧を期すため、わが陸軍當局では軍事工業關係の重要な業の國の統制案を完成するに至つたのはソ聯の五ヶ年計畫の結果、ソ聯に

飛行機製造工場、自動車製造工場、石油精製工場

駐ソ太田大使訓電  
有田外相から鈴木代議士近く出發  
満ノ現地調査

【東京六日】けふ、有田外相は駐ソ太田大使に重要訓令を發し、ソ聯側の我が方に示した國境問題に対する帝國の意向を表明する

三、ソ聯が日本人に反対すること共にソ聯の抗議を反駁すること

二、ソ聯領事が地方の報告は

然一致してない

三、ソ聯が日本人に反対すること共にソ聯の抗議を反駁すること



別派各選當

昭和四七年一月五日二政民  
△五一大同國△八一大社△九一和  
六六四合五他其△三立中

# 年十和昭選當舉選院議眾

森川中吉	上塚内池	木山紫	一樹田	大	芦村津	池田川	川西福水	京	山津八	出佐前鉢中	伊牧斯麻加	太森真淺	小田安頼	長駒鳩中安	橋立原渡河	東	
田村山吉	田本藤崎	村本安第	松谷万第	阪	田上原	本中崎	橋村田谷	都	口雲並	中藤田木村	藤野波生藤	田鍋沼	坂川藤木	野井山島部	本川邊野	京	
保福郎兵	孝重正忠	吉新三	定寅清	國	基末三	豐金關三	三治三	一	久國武七	米文梅六	武賤貞	勘五	信兼儀次	大梅正桂	高重一彌	祐太玉鍊	
義郎藏衛	吉藏剛孝	區郎治郎	吉吉臣	都	均吉武	好郎	區郎郎郎	都	吉利治	源正藏治吉	郎男吉久	十郎	吉郎純吉	區一次郎	雄幸郎重藏密	密	
(定員廿二名)	(定員十九名)	(定員廿二名)															
政社民	政社民	民政民	民民社	再新再再	再新再新	再元再元	再新再新	再元再元	新再再								
再新再再	再新再新	再元再元	再再新	再元元	再新新	再元元	再再新	再元元	新再再								
高佐松小	松北山	新佐富森牧	本中馬倉西	長	植若齋	小古田清	青柏小	立原藝前	中野中河	兵	河治牛岡	野川片小	飯戸岡	神奈川	古井松	岩田杉	
間藤木柳	井本	保田山	田村場成岡	崎	村宮藤	畠河中瀬	木林木	川山田	田井野上	庫	中川崎	田口山泉	田井崎	中田山	藤坂田	中田山	
大興牧	牧二郡	鷹英不元	庄竹	嘉	虎和	雷清	眞房	亥文一	徹丈一	玉	右松久	武義又	助嘉一	永治	幸治	永治	
輔一弘衛	治吉郎	雄平肇藏	作男治郎	平	嘉貞五	之二	虎一	亥歲一	太太一	馬	太次	武義又	助嘉一	光代	逸吉郎	逸吉郎	
(定員十五名)	(定員九名)	(定員十五名)	(定員九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十一名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	(定員十九名)	
國民政	民中政	政民昭	民民中政	新同再新	元新再	再元再	元再新新	再新再	新同再	新新同同	再新再	再再再	再再再	新再元再	新再再	再元再	
民政	民中政	政民昭	民民中政	同再	再新同同	同同再	同再新	同元再	新同再	新新同同	再元再	再再再	再再再	新再新	新再再	再元再	
高船柄	佐山飯	山石中井	宮中豊内	茨	小池土岩	鞠今吉	本川篠多	千	山出野	絶石高横	鈴高宮松	埼	篠木畑最	生清飯青中	群	武川増	佐山三内大
田田	第	藤本村見	崎井川	古崎田日	高田屋瀬	澤井植	多島原田	森	森井中	川坂櫻川	木橋崎永	原檜	方水家木島	上	田合田	藤田宅	杉竹
松木	一	洋糸五	三三二	啓俊豐信	長清	宇健庄	真正陸滿	葉	利兵徹	王武養守	重二	玉	三桃政二	留春精人	馬	直義四	久貢
平中區	區	助吉郎章	猛郎浩	郎秀吉也	三郎秋郎亮	八彦亮	郎郎朗長	一	一吉也	區治平次	郎雄一東	一	政郎作三	吉郎郎一平	三郎次一	輔司一郎	一區
(定員九名)	(定員九名)	(定員九名)	(定員九名)	(定員十一名)	(定員九名)	(定員九名)	(定員九名)	(定員九名)	(定員九名)								
民政	政民昭	同昭民	政民昭	同再	再新同同	同同再	同再新	同元再	新同再	新元同再	新同再	元同再	元同再	元同再	元再新	元再新	
田笠山	永倉坂太	山勝春高	宮小深山平	靜	杉大鈴	小武闘	波加瀧	山服丹	瀬服椎加小	愛	角濱長尾	服松川片加	三	岩服八松江	森高木松	坪岡大	
邊井金	崎又名木	本江澤口野	第一	浦口木	林富本	逸藤	田部下	川部尾	藤山	田井崎	部田崎岡藤	原檜上	方水家木島	上	本部木尾藤	下松村	山田門
七重梨	善要仙正	正錦春成	美忠光	武喜正五	實太	玉	茂正	嘉崎弁	松一	知	源國行	米正恒	米正恒	重	武毅逸四	國長漫光	喜恒
六治	三郎一	太	一代五雄	四正三	四正三	佐英茂	嘉崎弁	五松一	泉松源雄	泉松源雄	郎一克一郎	郎一克一郎	郎一克一郎	一	助一郎郎	三七三	治作
(定員五名)	(定員五名)	(定員五名)	(定員五名)	(定員十三名)	(定員五名)	(定員五名)	(定員五名)										
政中再新	民政政	社政昭民	政民政改民	同再新再	新同再新	再元同同再	元同同再	新元同同再	再元同再	新元同同再	新元同再	再元同再	再元同再	再元同再	再元同再	再元同再	
田岩子	鈴氏比	林凌助仲八	菅堀粟	福	大村小石	佐宮菅守内	百植畔	中北木宮	春小小	田田松	長古日收	加伊木	大清山	岐	服田森青堤	滋	今平
手	木家佐	川西田	野切山	福	石松山	夕木	原阿	原阿	下澤	田原	比野	藤村	木	井野内	部中	井野内	
民區	辰	昌三平季	四三宗	島	倫久	倉二	木	原	日山山	中本	野	幸亮次	幸亮次	賀	全縣一區	新力良	造三平
(政再)	(政同)	(同民政同)	(同政民同)														
豐由山三	鳥	土島松	石寺野	富	喜益櫻	神箸永	石	土小川	中中信町	秋	奥清熊松	佐木西高	山	菊工兼	藤井	青森	志鶴松
田谷樹好	全縣一區	倉七村	坂島村	壯	多谷井	保本	熊谷	田侯	中田川	田	山水谷岡	藤村方橋	形	池田	原八十	菊池	八角
義儀榮次	收治重郎	耶謙二	豐權嘉	兵	柳一	野毛	藤野	田	太田	野	德太	武利達	一	太郎	鐵男	和昌	鬼見川
(定員四名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員五名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)							
昭國同民	同政民	政同民	同政民	昭政民	昭政民	同政民											
同同再元	再同	再元再	新同再														
香高真秋	生紅田	德三小田	玉松西	和	中兒國	西村高久	山	小星小犬西	黑行片岡久	岡	宮横永	肥山田望	廣島	島田	内	木原	島
川兵	島鍋田	露村	尾山淵	置山田	吉常	房貞	野玉光井村	谷島川養村	岡田吉山田山	田道中月	澤山田屋	田道中月	田川川田	大	第一	第一	第一
(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員九名)	(定員十三名)	(定員十三名)	(定員十三名)									
和歌山	生	高久西	村高久西	山	喜益櫻	神箸永	石	土小川	中中信町	山	奥清熊松	佐木西高	山	菊工兼	藤井	青森	志鶴松
日本	島	吉常	房貞	山	保本	野毛	藤野	田侯	太田	山	山水谷岡	藤村方橋	形	池田	原八十	菊池	八角
(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員九名)												
香高真秋	生紅田	德三小田	玉松西	和	中兒國	西村高久	山	小星小犬西	黑行片岡久	岡	宮横永	肥山田望	廣島	島田	内	木原	島
川兵	島鍋田	露村	尾山淵	置山田	吉常	房貞	野玉光井村	谷島川養村	岡田吉山田山	田道中月	澤山田屋	田道中月	田川川田	大	第一	第一	第一
(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員六名)	(定員九名)	(定員十三名)	(定員十三名)	(定員十三名)									
中田池佐	重清綾	朝小金一	未片末勝	野沖鶴岡山	田石田高龜	前松藤中	福	尾林佐	田富大	高	山砂本	小材河	松大武	愛	山矢三	宮戶小	熊
村	△中野田	△第	△次山松	△田	崎	△井島野井	△第	崎	竹	△村	田石	△第	野上上	△第	下野土	△第	野生
又二亮邦秀	規健二	每庸治	幸達	生久太	德勝喜	賈	幸治	勝正一	幸	幸	豐重	紋哲	黃吉郎	媛	谷太郎	祐昌	太郎
(定員七名)	(定員七名)	(定員七															





## 結婚披露會行 成るべく手輕に

招く人招かれる人  
共に良いやうに

結婚披露は披露で、結婚式  
たゞ云ふことが、知り友人に知  
れても喜んで貰へればよいわけ  
で、披露式で通知して是れまで一  
人御祝ひを蒙るのを、一人植  
いたから二人分の御祝ひ引立な  
ど、何ら質素にこつけられても、  
蒙りたいと、お頼ひすればそれ  
でし済むのです。が、併し一生に  
一度の慶事であるから、綺麗に着  
飾つた嫁さん人目に掛けて幾  
久しく御祝ひを貰ふの、良いこと  
蒙りたいと、お頼ひすればそれ  
でも大金をかけての披露會は考  
るものだと思ひます。都市では近頃  
段々考へる人々が多くなって來  
て見ませう。

石油、キハツ油は  
家庭内も容易に爆發  
家庭でどう云ふ注意が必要か  
主婦は忘れるな

石油、揮油などは大抵の御家庭で使用するものですからこの處理に就ての注意を申しあげて見ませう。

石油や揮油に引火して、思ひがけぬ事故を惹起すことは往々ありませうが、これら失敗はそれ自らの發火點の問題よりも、容器の不完全から蒸氣を出て来る可燃性ガスの引火によるものです。換気すれば點火したマッチを石油に投じても滅多に火はつかないが、これが蒸氣を出でさせてしまう場合に直ちに爆發する危険があるのです。

（油） ガス 石油や揮油に引火して、思ひがけぬ事故を惹起すことは往々ありませうが、これら失敗はそれ自らの發火點の問題よりも、容器の不完全から蒸氣を出て来る可燃性ガスの引火によるものです。換気すれば點火したマッチを石油に投じても滅多に火はつかないが、これが蒸氣を出でさせてしまう場合に直ちに爆發する危険があるのです。

**因はれ** 費用損の人困ま  
せを爲るが故に

**黄熱病** (五)

(エブレアマーロ)

同仁會醫 細江靜男

黄熱病にかかる者は考へさせられる。

その位死率に大小のあるものは

改め易いのに改め得ない云ふこ

とは矢張り努力が足りないとい

ふより外には言ひやうがないよ

うにするのが向上にはあります

まいが、細かな場所に来て、一番

改良で送ふけれど、二、三週間

で同じ成績になる。成績達つて

この卵の幼虫は仲々の低温にも生

活力を有して、卵は乾燥状態

で、小供の名前で親ひでも結局

六%までひらきがある。地方病的

して行くやうありますから、ア

ラムに居る同胞の互ひも、移

民地向きて無いことはござ

其の精神だけは無くさないことに

# 年毎に増加する

## 聖市近郊の邦人

實は五千二百八名に達す

### 筆頭はコチア

既報の如く聖市在留邦人の數はこ  
二、三年の間に急激に増加し最  
近僅に四千名を突破してゐるが、  
今聖市外のコナ、エニクリー、  
フレグシャード等所謂聖市近郊  
の在留邦人家族調べてみると  
の在留邦人家族調べてみると  
現地戸数九百六十四、總人員五  
千二百八名に達してゐる。このう  
ち女じは二千三百五十二名で先づ  
男の子に匹敵してゐる。今は等の  
人口を細別してみると次の如く  
わらが、筆頭に何と云つてもコナ  
年の千二百八十六人で第二位はウ  
ケリーの六百八名である

### 輓馬狂ひ

#### 池田氏慘死

輓馬狂ひ

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

地在住田寅助氏(六二)は去月廿  
四日午よりのかるみを馬車でミ  
リヨ運搬中にアロガ打び駆け  
出、そのため乗車してた池田  
氏は車上から放り出されて車の下  
敷きになり頭部が紛糾して即死し  
た、同氏は佐賀縣出身、同地方開  
拓の先駆として熱心に努力した人  
であつた

ピリゴン

運搬中の奇禍

### 成績良好

幸先よき本年度新棉格付

量質共に

成績良好

量質共に

### 中央線事故二つ

#### 伊軍用機二臺

アチスアベバ

上空へ襲來

先づ飛行場爆撃する

【東京四日ラヂオ】エチオニア軍に再三襲撃會を闘争する

軍の組織にも拘らず、伊軍は國防

に軍内内戦に陥つてあり、次

に軍の苦戦を経はじめてゐる

て、これが、伊太利軍の軍用機二臺

が、伊太利軍の軍用機二臺

### 中央線事故二つ

#### 御旅館富士屋

静岡縣人會指定旅館

電氣治療院

及血液檢查

科

外科

婦科

内科

眼科

耳科

歯科

皮膚科

精神科

消化器科

腎臓科

内分泌科

神經科

呼吸器科

循環器科

泌尿器科

生殖器科

内分泌科

神經科

呼吸器科

循環器科

泌尿器科

生殖器科

内分泌科

神經科

呼吸器科

循環器科

泌尿器科

生殖器科

内分泌科

神經科

呼吸器科

循環器科

### 五百針の

偽造紙幣

五百針の



## 伸びる「商業日本」の手

### 日伯貿易協会設置

野村農場を基礎に棉花等輸入

今度は野村財閥が

学校新設

松岡副支配人

来月二日出發

千浦主事も同行

既報、パラグアの新副支配人になつたグラウス主任松岡又一氏は、

來月二日サントス出港のモンティ

アオ丸にて出港アエロス經由にて

パラグア井へ向ふ事に決定、目下

事務整理やら出港準備で忙殺され

てゐる

が、去月一日柳、杉田氏の斡旋で

小学校を新築、多年教育に経験を

有り立本格的商事會社を經營

輸出を計ることになった、しかし

花會社を基盤に棉花、羊毛などの

農產物或は綿産物などを輸入す

る一方、粗糲工業に要する鐵製品

機械類など主として重工業製品の

輸出を計ることになった、しかし

至らず、これが實現を考慮中の處

今回合名組織になるまことに土地

業（資本金一千萬圓）を立てこれ

に當らむことになり、最も將

來性に當る對南米貿易に先づ着眼

しづらの野村農場並にペルー棉

输出を計ることになった、しかし

至らず、これが實現を考慮中の處

今回合名組織になるまことに土地

業（資本金一千萬圓）を立てこれ

に當らむことになり、最も將

來性に當る對南米貿易に先づ着眼

しづらの野村農場並にペルー棉

もつ福田氏妻女教師に招請開校  
する事になつた

## 王城復興の意氣高らか

運動場を設置

直屬の運動場なく、そのため支部

對抗或は合宿練習等には外人所有

のカムボを使用して來たが、それ

では何かと不便で出來得れば自分

達でも一つカムボを有つたうではな

いから計畫の中のところ、このほど

マバク植民地に好適の地を見つけ

ヨセー。テカルド驛には從來邦

語小學校がなかつたために就學兒

は五キロも奥まで通學してゐた

が、去月一日柳、杉田氏の斡旋で

小學校を新築、多年教育に経験を

有り立本格的商事會社を經營

する事になつた

十二時半閉會したが、同總會は近

頃種々見る嚴肅且つ有益なる會合

であった

カロ日本人學校父兄會の總會は昨

七日午前九時半總領事館會議室で

開催されたが、出席者は

市毛經領事はじめ淀川領事、

藤川慶蔵、安東理事長、佐藤專

務理事、金城理事、多羅雲監事

中野海興支店長、鰐島、杉本、伊

大河内、黒石本社長、諸氏にサ

レトスの南條副領事、藤田、古

谷氏、パウルの原口領事代理

リバロンの齊藤書記生等十九名

で澤田大使が先づ安東理事

長より開會の挙げられ大いで佐藤

事務理事より嘉賞をして藤田、古

教科書編纂、正教員養成、育英事

業、サンバウロ學會、寄宿舎

教育映畫班、青年文選、情報教

育、日本文化普及計画等に關し詳

細に亘つて報告があつて後市毛經領

事より挨拶あり、終つて意見交換

席者の實際問題に對する意見を聽

取して参考として最後に澤田大使よ

## ソ・蒙援助條約のけふのニュース

### 國民政府抗議か

わが當局態度を監視

永田事件公判

來る廿日頃再開

募集中開始

嚴重に審査

育英生

日本病院起工式に臨席の爲

日本病院起工式に臨席の爲四日來

日本病院起工式に臨席の爲四日來

日本病院起工式に臨席の爲四日來

日本病院起工式に臨席の爲四日來

## 日・伯を結ぶ無線電話

來る十五日愈よ開通

澤田大使先づ有田外相を呼出し

朗かに聲の握手

澤田大使

來る廿日頃再開

募集中開始

嚴重に審査

育英生

日本病院起工式に臨席の爲四日來

## CASA PAIVA

Rua São Bento, 29  
São Paulo



## 自動車競走企圖

特別委員會を設定し

積極的に乗り出す

カーラギヤイ・リオ間の

ウルガイ・リオ間の

自動車競走企圖

自転車競走企圖

馬車競走企圖

